

ウォール・ストリート・ジャーナル ベストセラー第1位！

マイクロソフト CTO による初の著書！AI がもたらす真の未来とは――

『マイクロソフト CTO が語る新 AI 時代』刊行のお知らせ

株式会社ハーバーコリンズ・ジャパンは2月17日、マイクロソフト CTO（最高技術責任者）のケヴィン・スコット氏が人工知能（以下、AI）のビジョンを克明に描いた『マイクロソフト CTO が語る新 AI 時代』を刊行することを決定いたしましたのでここにお知らせいたします。

本書著者ケヴィン・スコット氏は、Google、LinkedIn での華々しい経歴を経て、マイクロソフト CTO となり、シリコンバレーで AI の発展をけん引する最重要人物の一人。

AI についてはこれまで期待が急激に高まったかと思えば「AI の冬」と呼ばれるなど、動向やさまざまなニュースに翻弄されてきましたが、本書では「AI はこれから間違いなく、個人や企業にとってのプラットフォームとなり、創造性や生産性の向上や、大きな社会問題の解決に使われていく」という著者の主張と共に実用化が広がる AI の最新技術と現状を詳解し、その将来についても地に足のついた洞察を与えてくれます。

例えば実際にアメリカの広大な農地では AI と人間が一体となり、適切な場所に適量の水分・農薬散布を行う農業機械を導入することで精密農業が実現し、収穫量の増加、環境資源の節約に成功しています。またセンサーやデジタルマッピング技術を用い、土壌の温度や湿度、酸性度の情報を収集、問題を突きとめ、収穫量を上げる試みも行われています。

環境保全という側面においてはルワンダやタンザニア、インドにおける野生動物の密猟、熱帯雨林の違法伐採の抑止に AI が採用されています。

このような試みは農業や環境保全に留まらず、製造業や医療、災害復興など、あらゆる重要分野において新たな打開策となると著者は力説します。

また米・ヴァージニア州の田舎町にルーツを持ち、アメリカの二極化を肌で感じてきた著者は AI による格差解消の可能性を提示し、AI は分断を助長するものではなく、そのテクノロジーを社会全体に均等に行き渡らせることですべての人に豊かさと新たな機会を生み出すポジティブな存在になると主張しています。

分断に揺れるアメリカ、そして今やボーダレスにつながるグローバルの現在と未来を、業界のリーダーかつエンジニアの視点から克明に描き出した本書はこれから社会を創造していくビジネスパーソンの必読書となることでしょう。

【著者】ケヴィン・スコット Kevin Scott



マイクロソフトのチーフ テクノロジ オフィサー(CTO) 兼エグゼクティブ バイスプレジデント。モバイル広告の AdMob でテクノロジーチームの立ち上げを指揮し、業界で頭角を現す。AdMob が 2010 年に買収されたのを機に Google に移籍。Google や LinkedIn で役員や技術職を歴任し、現職に至る。Google Founder's Award や Intel PhD Fellowship、ACM Recognition of Service Award など輝かしい受賞歴を誇る。また現在は、スタートアップ企業顧問、エンジェル投資家、非営利団体 Behind the Tech の創業者、Anita Borg Institute の名誉理事などの顔も持つ。ヴァージニア州の田舎町出身で、妻と 2 人の子供とともにカリフォルニア州ロスガトス在住。

【賛辞】

「ロボットが仕事を奪いにやって来る!」と「AIは最高! 心配無用だ」という、両極端な意見のあいだのバランスをケヴィンが見いだしてくれたことをありがたく思うだろう。わたしたちはこれから数十年かけて、彼の視点がいかに聡明だったかを徐々に実感していくはずだ。

——J. D. ヴァンス (『ヒルビリー・エレジー』著者)

本書は自分自信、組織、世界のためにどう協働し、機会を創出できるか、示唆に富んだ視点を与えてくれる。

——マイクロソフト CEO サティア・ナデラ

本書は、われわれが目指すべき未来を明るく照らしてくれる。

——LinkedIn 共同創業者 リード・ホフマン

【書誌情報】

『マイクロソフト CTO が語る新 AI 時代』

ケヴィン・スコット[著] 高崎拓哉[訳]

発売日：2021 年 2 月 17 日

版型：四六並製

ISBN：978-4-596-55162-7

価格：1900 円 (+税)

頁数：320

【試し読みのご案内】

現在ハーパーコリンズ・ジャパン note では本書試し読みを公開しています。この機会には是非ご覧ください。

https://note.com/harpercollins_jp/n/n5c5a53a06e56